

新緑の候、皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
今月の診療科別予定表を同封いたしますのでご参照ください。
今後とも、患者様のご紹介をよろしくお願いいたします。



1. 入職医師ご紹介



循環器内科 医長

まきた なおき
蒔田 直記

4月から阪南市民病院で『循環器内科常勤医』として勤務することになりました蒔田直記です。心不全をはじめ、狭心症、心筋梗塞などの虚血性心疾患、不整脈、肺塞栓症、深部静脈血栓症などの静脈血栓症、間欠性跛行や下肢難治性潰瘍、壊疽の原因となる閉塞性動脈硬化症に対して積極的に治療を行っていきます。高齢化により、今後ますます循環器患者は増加していくことが予想され、この状況に立ち向かうために、先生方のお力をお貸し頂き、これまで以上に連携を強めていくことが必要不可欠と考えております。

胸痛、動悸、下肢浮腫、心電図異常、間欠性跛行、ABI低下、下肢潰瘍、下肢壊疽などの症状をお持ちの患者様、高血圧/糖尿病/脂質異常症/喫煙歴/家族歴のうち2つ以上のリスクファクターのある患者様、狭心症や心筋梗塞の既往のある患者様の慢性期心精査など、些細なことでも迅速に対応させていただきますので、遠慮なく御紹介ください。どうぞよろしくお願い申し上げます。



糖尿病内科 医長

たまがわ
玉川 えり

4月より阪南市民病院の糖尿病内科で勤務させて頂く玉川えりと申します。和歌山県立医科大学付属病院、済生会和歌山病院を経て、御縁を頂きました。人生100年時代に突入し、健康寿命をいかに伸ばすかが重要となっております。糖尿病は特に血管合併症によりQOLに多大な影響を及ぼすことが知られています。内服薬やインスリン製剤、GLP1製剤など治療薬が多様化しておりますので、患者さまの病態に合わせた治療をご提案できればと思っています。

当院では約2週間の教育入院が可能です。また、糖尿病療養指導士による生活習慣指導もございます。外来での食事療法の見直しやフットケアなどご希望がございましたらご紹介ください。何卒よろしくお願い致します。

2. 当院の感染管理について



当院の基本方針である『「やさしい」「ていねい」「あったかい」医療の提供』として、病院を利用される全ての人を感染から守るための感染管理を目指しています。

薬剤耐性菌の増加や医療関連感染のリスクに対応するため、院内にとどまらず他の医療機関とのネットワークにおいて情報共有、活動を行っています。

現在、市中で蔓延している新型コロナウイルス感染症対策について、当院では職員の健康状態の把握、PPE使用、手指衛生を再徹底しています。

来院時全ての方へ手指消毒、マスク着用をお願いし、定期受診の患者さまと初診患者さまができるだけ交差しないような待合スペースの確保や、会計を個別対応や面会制限を行い、人と人との接触を減らすように努めております。

今後とも地域医療を守るため皆さま方のご理解とご協力をお願い申し上げます。



正面玄関に掲示しているポスター



リハビリテーション室前のポスターと消毒液



総合診療待合

手術室・中央材料室 / 感染管理室

とがわ あきこ
科長 戸川 朗子

3. 市民公開講座の延期について



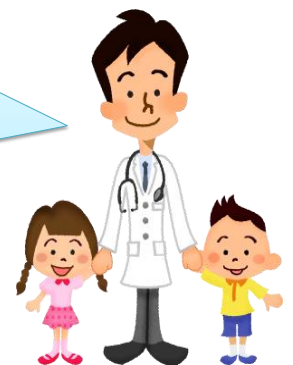
定期的に開催しております市民公開講座ですが、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、開催を延期させていただきます。ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

○● ゴールデンウィークの小児科特別診察 ●○

5月5日（火曜日） 受付・診察時間

午前9時～午後12時

で実施いたします。



社会医療法人生長会 阪南市民病院 地域連携室

(直通) TEL 471-3020 FAX 471-3977

受付時間 午前8:45～午後6:00 ※土曜日は午後0:30までとなります